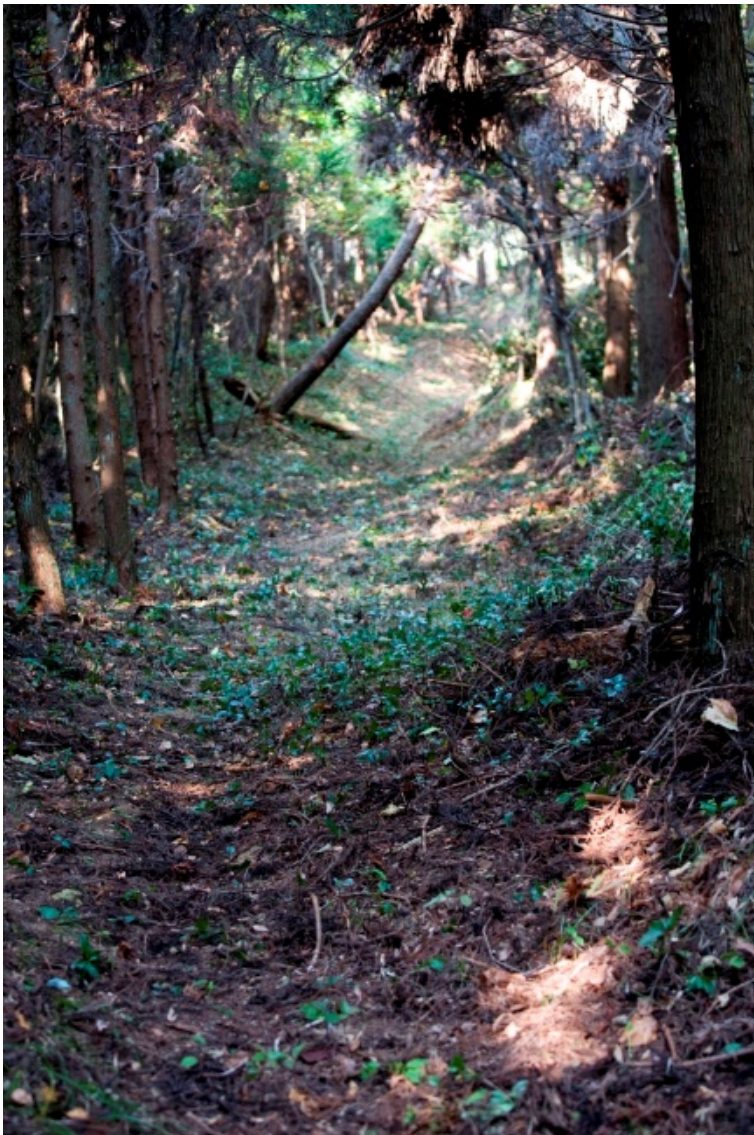


88. ^{にしいかりみち}西五十里道・^{つるしみち}鶴子道

選定箇所：選定箇所：鶴子～鶴子銀山跡～上相川（新潟県佐渡市）

概要：中近世における鶴子銀山の開発に伴い、真野湾の沢根五十里港から鉾山集落・銀山までの間に整備されたと考えられる主要な幹線道路で、後の相川金銀山の発見と鉾山集落の形成（上相川）により、鶴子銀山～上相川間が延長されたと想定される。比較的傾斜のゆるやかな相川道（相川～小木間の往還）が整備された後は、主要な幹線道路ではなくなったが、江戸時代後期には鶴子銀山の弥十郎間歩と相川を結ぶ道路として機能した。



写真提供：佐渡市